

研究調査運営委員会レポート

◆調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募◆

委員会名 【技術委員会】	Okinawa 型産業振興支援技術 協同研究委員会 【次世代産業システム技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 22 年 10 月～平成 24 年 9 月	OKINAWA型産業振興プロジェクト に協賛し、沖縄の観光資源、立地条件、 風土条件、気象条件、政策事業要件など を有効に活用し、沖縄ならではの新事業 創出や経済・観光・雇用などに関するイ ノベーションを見出すべく、ロボットお よび組み込み技術分野からの産業振興 支援技術に関するフィールド調査、研究 交流などを図り、支援技術情報の交換お よび研究開発人材の育成・研鑽をはか る。	
委員長名（所属）	姉崎 隆（沖縄高専）		
委員会開催頻度	4 回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		姉崎 隆（沖縄高専）
	電話		0980-55-4176
	FAX	0980-55-4012	
	E-mail アドレス	anezaki(at)okinawa-ct.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	沖縄の社会風土と自然環境に理解と関心を持 ち、ロボット・組み込みシステムの研究開発に 経験を有する方		
応募締切	平成 23 年 7 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0 円／年	

委員会名 【技術委員会】	測位による G 空間高度化 協同研究委員会 【次世代産業システム技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 22 年 10 月～平成 24 年 9 月	安全・安心な社会を実現するG空間情 報の活用のため、①シームレス測位実現 への課題、②3次元マップなどのビジュ アライゼーション技術、③ユビキタス携 帯端末とヒューマンインターフェイス、 ④位置情報サービスにおけるプライバ シー保護のあり方について調査する。	
委員長名（所属）	中川 雅史（芝浦工業大学）		
委員会開催頻度	3 回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		海老沼 拓史（東京大学）
	電話		03-5841-6972
	FAX	03-5841-6976	
	E-mail アドレス	ebinuma(at)nsat.t.u-tokyo.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	衛星測位、屋内測位、地理空間情報、防災、 ユビキタスデバイス		
応募締切	平成 23 年 7 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0 円／年	

委員会名 【技術委員会】	高品質人間活動支援技術 協同研究委員会 【次世代産業システム技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成22年10月～平成24年9月	ロボット工学，IT，医療福祉学，心理学など多様な分野の知見を効果的に融合することにより，誰もが容易に利用でき，かつ豊かな活動を行えることを可能とする支援技術の在り方とその実現化に関する研究を調査する。	
委員長名（所属）	大山 恭弘（東京工科大学）		
委員会開催頻度	4回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		横田 祥（摂南大学）
	電話		072-839-9155
	FAX	072-839-9155	
	E-mail アドレス	yokota(at)mec.setsunan.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	人間中心設計，医療・福祉機器，感性工学， サービス一般，ヒューマンロボット		
応募締切	平成23年7月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		0円／年	

委員会名 【技術委員会】	需要設備向スマートグリッド実用化技術 調査専門委員会 【生産設備管理技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成22年10月～平成24年9月	我が国のスマートグリッド研究開発，実用化の動向を踏まえ，産業，業務分野としての需要設備向のスマートグリッドの実用化の動向を調査し，需要家サイドで開発すべきエネルギー管理システムと，その情報インターフェース，プロトコル及び，デバイスの方向性と概要仕様を検討する。これによって，需要家におけるスマートグリッドの対応の有効性を実証し，実用化と関連ビジネスモデルのロードマップの確立と促進を図る。	
委員長名（所属）	柳原 隆司（東京大学工学系研究科）		
委員会開催頻度	6回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		豊田 武二（協立機電工業）
	電話		03-3268-7137
	FAX	03-3268-7207	
	E-mail アドレス	toyoda(at)kyoritsu-kiden.co.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	電力系統技術，再生可能エネルギー，BACnet， エネルギー管理，パワーエレクトロニクス， オープン通信ネットワークワーク		
応募締切	平成23年7月31日		

委員会名 【技術委員会】	診断・監視と周辺技術に関する 協同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成22年12月～平成24年11月	計測・収集されたデータの信号処理・統計処理に基づくシステム（設備，装置，生体）の監視・診断・検査を行う技術や手法について，分野横断的に幅広く議論を行い，系統的な手法を確立することが本協同研究委員会の活動目的である。	
委員長名（所属）	井上 勝裕（九州工業大学）		
委員会開催頻度	4～5回／年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名（所属）		大屋 英稔（徳島大学）
	電話		088-656-7467
	FAX	088-656-7467	
	E-mail アドレス	hide-o(at)ee.tokushima-u.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	診断・監視・予知・保全・同定といった工場・ 設備，公共的施設，作業現場・医療現場，生活 支援環境などで必要とされる技術開発に従事， あるいは興味をもたれている方		
応募締切	平成23年7月31日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		1,500円／年	

委員会名 【技術委員会】	情報知能システムの新展開とその産業応用 調査専門委員会 【産業計測制御技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月	(1)最適化法・学習法を中心とした情報 知能的アルゴリズムの最新動向の調査 (2)情報知能的アルゴリズムの特徴の整 理 (3)報知能システムの産業応用への適用 事例の調査と整理 (4)情報知能システムの産業応用に関す る今後の展望と課題	
委員長名(所属)	松井 哲郎(富士電機ホールディングス)		
委員会開催頻度	6回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		松井 哲郎(富士電機ホールディングス)
	電話		042-586-8875
	FAX		042-582-3692
	E-mail アドレス	matsui-tetsuro(at)fujielectric.co.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など	広く情報知能システムあるいはその産業応用 に関する研究・開発の経験をお持ちの方，また は関心をお持ちの方(電気学会会員，または入 会いただける方)		
応募締切	平成 23 年 7 月 31 日		

編集後記

新年あけましておめで
とうございます。昨年は，
記録的な猛暑が身近な生
活に多くの影響を及ぼし，環境問題への関心がさらに高ま
る一年でした。今年も，環境にやさしい日本の産業応用技
術が期待される1年となるのではないのでしょうか。

さて，1月号の巻頭言では，千葉工業大学の西田先生に日
韓ワークショップについてご紹介いただきました。今年 4
回目を迎える韓国との技術交流によって，相互の技術発
展・関係強化につながるものと思います。

資料コーナーでは，「蓄電池の現状と今後の展望」と題し
て日本電信電話株式会社の藁輪浩伸氏にご執筆いただきま
した。2010年5月に資源エネルギー庁より発表された「蓄
電池システム産業のあり方について」をもとに，蓄電池の
現状と課題についてわかりやすくご解説頂きました。

学界情報では，2010年10月にテキサス州ヒューストン

で開催された IEEE IAS2010 のレポートを大阪府立大学の
黒木先生にご執筆いただきました。本会議で多くの日本の
研究が評価され，受賞されたことを大変喜ばしく思います。

その他，産業応用フォーラム「PM モータドライブの基
礎技術」，電気学会産業応用部門大会のご案内をそれぞれ
掲載しております。多数のご参加をお待ちしております。

また，研究調査運営委員会レポートでは，6件の技術委員
会が新設され，その公募情報を掲載しております。技術委
員会での活発な議論や交流が，日本の産業応用技術の発展
への大きな原動力となることと思います。

最後に，ご多忙にもかかわらず，記事を執筆いただいた
皆様，編修作業に携わっていただいた皆様のご協力に心か
ら厚く御礼申し上げます。

皆様にとって本年も良い年となりますように。

エディタ 五十嵐 洋(東京電機大学)

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には，“(at)”を“@”に置き換えて下さい。